

2014年度 法科大学院
第1回 既修者入学試験問題
2時限
民法(論文式)
試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

【事実Ⅰ】

Xの父Aは、同居していたXが海外出張するに際して、X所有の甲土地の登記済権利証と実印の管理を託された。多額の債務を負っていたAは、自己の借財整理の目的で、Xが不在の間に、Yに甲不動産を売却して、代金支払いと引き換えに所有権移転登記を経由して甲不動産をYに引き渡した。しばらくして帰国したXは、甲土地をYが占有していることを知り、Yに対して甲不動産の返還を申し入れることにした。

設問1

- (1) 事実Ⅰにおいて、Aが預かっていた書類等を利用して、Xに無断で売買を原因としてA名義の所有権移転登記を了したうえで、Yに甲不動産を売却していたと仮定して、XとYの法律関係について検討しなさい。
- (2) 事実Ⅰにおいて、Aが、代理人欄に「A」、委任事項欄に「甲土地の処分に関する一切の事項」と記載した委任状を偽造し、Aから預かっていた登記済権利証と共にこれをYに提示して、甲土地をYに売却していた場合、XとYの法律関係はどうなるか、検討しなさい。

【事実Ⅱ】

その後、Xが甲不動産の返還をめぐってYと交渉していたところ、Aが交通事故により急死し、XはAを単独相続した。

設問2

事実Ⅱが生じた後では、YはXに対していかなる主張ができるか、及びその当否について、設問1(1)と(2)の各場合に分けて、答えなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)